

茶ノ湯

新景

©福羅広幸



給湯室茶会

茶人 No. 28 給湯流茶道
谷田半休さん「某流派8年」

サラリーマンとOLは現代の戦国武将である！と、茶の湯漫画の傑作『へうげもの』に感銘を受け、会員の谷田半休さんが立ち上げた「給湯流茶道」。過労、パワハラ、リストラなどで実際に人が亡くなる現代、会社を戦場、給湯室を侘び茶室に見立て、抹茶を立てています。給湯室の狭さは、千利休の「待庵」にも通じるとか。給湯流が追求するテーマは「諸行無常」。生きていれば必ず直面する諸行無常の瞬間を茶の湯によって鎮魂しようと、全国の戦場^{〴〵}で茶会を開いています。今年3月には廃線直前のJ R三江線・宇都井駅前で、高さ20mの宇都井駅を巨大な掛軸とみなして茶会を開催。「見立てしかなない流派ですが（笑）、なんてことのない茶碗も、語りようで名道具に見えてくる。そんなところが茶の湯の面白さ」と谷田さん。給湯流では「狂言部」「雅楽部」「詩吟部」も派生。イベントでは一堂に集い、日本の伝統文化を結集して現代の諸行無常を謳い上げています。

給湯流 www.910iyu.com

右の女性が谷田さん。給湯流の立ち上げと同時に、伝統ある流派にも入門し、茶の湯を学んでいる。